

# 災害情報の確認方法を知っていますか？

大田区の防災アプリは避難所の開設状況や河川の水位等の気象情報を確認できます。また、鉄道やバスの運行状況・電気やガス等のライフライン・携帯や固定電話の通信状況も確認できます！



防災アプリアイコン



iPhoneの方はこちら

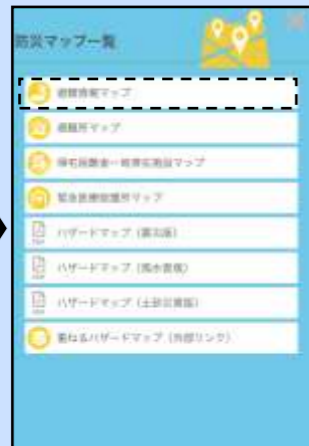


Androidの方はこちら

矢口地区の防災情報について、アプリで確認してみよう！  
ダウンロードは左記のコードから！



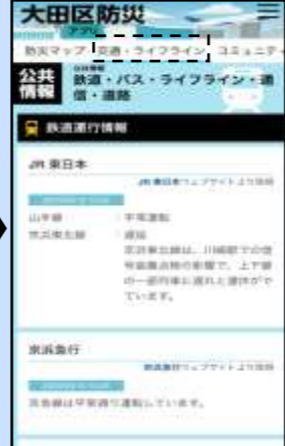
①アプリを開き、防災マップをタッチ



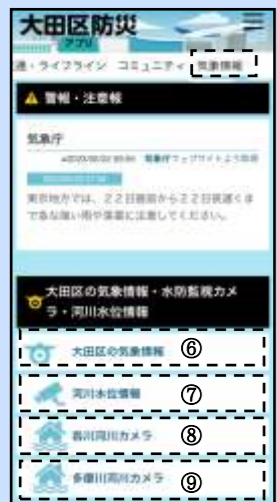
②避難情報マップをタッチする



③被害情報が示された防災マップを確認できる。



④交通・ライフラインをタッチすると鉄道やガス・水道等の使用状況が確認できる。



⑤気象情報をタップすると気象情報や河川の水位等を確認できる。



⑥警報や土砂災害、雨雲、雨量等、大田区の気象情報が確認できる。



⑦河川の水位状況や河川の氾濫基準との比較を確認することができる。



⑧呑川の河川カメラ



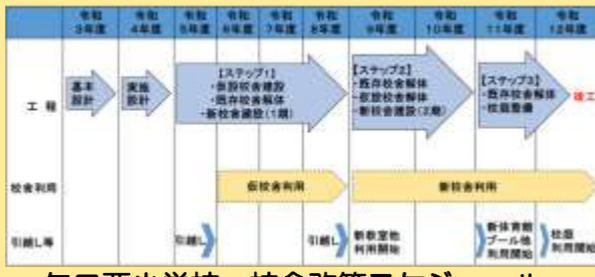
⑨多摩川の河川カメラ

## 矢口西小学校の改築について

令和5年度から令和12年度にかけて矢口西小学校の改築工事が行われます。矢口西小学校は地震・風水害ともに避難所として指定されていますが、受入人数等に制限が生じる場合がございます。ご理解・ご協力をお願いいたします。詳しくは区のホームページをご参照ください。



大田区ホームページ



矢口西小学校 校舎改築スケジュール

YBTは、矢口地区の防災情報紙として年2回発行予定です。  
YBTでは、防災に関する最新情報や地域情報を掲載しますので、災害に備えてご活用ください。

略して  
YBT

# Y aguchi Bousai T alk

～YBT第5号～ ホームページにてバックナンバー公開中！  
前回発行のYBT第4号（令和5年1月19日発行）では、地震対策について紹介しました。  
過去のYBTは矢口特別出張所でお配りしております。



## 水災害への備えとして「土のう」を活用しよう！

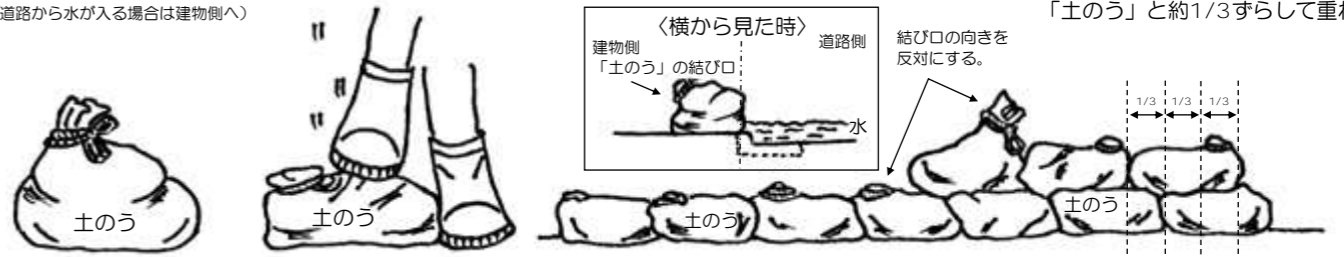
台風や大雨による浸水防止には、「土のう」が効果的です。  
区民の皆様が自由にお使いいただける「土のう置場」を区内27か所に設置しています。  
また、「土のう」の配布を希望する場合には、地域基盤整備第二課までお問合せください。  
電話（5713-2007）



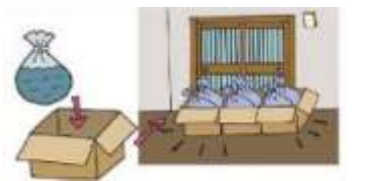
矢口管内の土のう置場は「矢口二丁目公園（矢口2丁目21番30号）」

### 「土のう」の積み方

- ①「土のう」の結び口は、上向きにして水の無い側へ（道路から水が入る場合は建物側へ）
- ②1段ごとに足で踏みつけて…
- ③すまなく平坦に…
- ④積み重ねるときは、「土のう」の結び口の方向を変えて下の段の「土のう」と約1/3ずらして重ねる



- ◆ この積み方は、増水程度の低い所で土のうのみを使用した方法です。
- ◆ 土のう置場は必要に応じて補充を行っていますが、台風等が予想される場合不足する可能性がありますので、日頃からの準備をお願いします。
- ◆ 土のうがない場合、ごみ袋に水を入れた「簡易水のう」を玄関前に並べて置くことで家屋の浸水被害軽減に役立ちます。（段ボールやプランターを併用すると、効果が高まります）



### 祝！50周年 矢口消防団

矢口消防団は、昭和48年に蒲田消防署から矢口消防署が分離した時に誕生しました。7つの分団が力を合わせて、矢口地域の防火防災を見守っています。7分団の中でも主に矢口、下丸子地区が管轄である第4分団、第5分団からコメントをいただきました。

#### 主な活動内容

- 1月:年始警戒・消防団始式
- 6月:操法大会
- 10月:消防団合同点検
- 12月:年末警戒

その他、  
自治会・町会主催の防災訓練の指導、  
消防演習、消防訓練、救命講習の講師等



#### 第4分団 深谷 清之 分団長コメント

矢口の街は、我々が守る！の意気込みで日々活動しております。平時は、プライベート、個人情報とても大事です。ただ非常時には、自分を守る防災知識、自分を守れたら家族、お隣さん町会の方々・・・と広がって行く地域力も防災には必要かと存じます。  
一年を通してお仲間募集中です。

#### 第5分団 佐々木 久雄 分団長コメント

第5分団は、現在ではサラリーマン・女性団員が大半を占めています。団員の人数も矢口消防団の中で最少となっており、日々団員の確保に努めている次第です。長い歴史の中で、地域の皆様と共に協力し合い活動してまいりました事に感謝申し上げます。  
矢口消防団が創立50年を迎え、消防団としての責務の重さを感じる次第です。





# 災害が起こる前に！ハザードマップを確認しておこう

令和5年3月に大田区防災ハザードマップを改訂しました。東京都が公表した新たな被害想定等を反映し、他、災害種別に分かれていたマップの統合、英語・中国語併記版及びやさしい日本語版を作成しました。今回は、改訂した冊子から、風水害編である多摩川と高潮のハザードマップを見てみましょう。

ハザードマップはこちらから↑出張所でも配布しています。

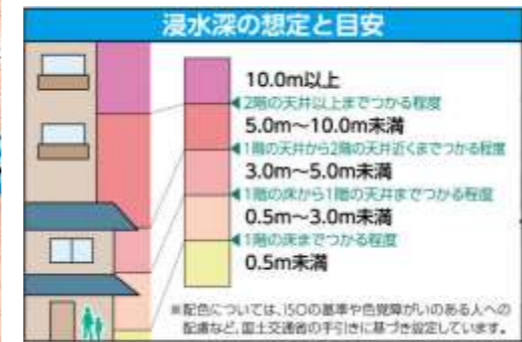


## ステップ1 多摩川流域に大雨が降った場合の最大浸水深

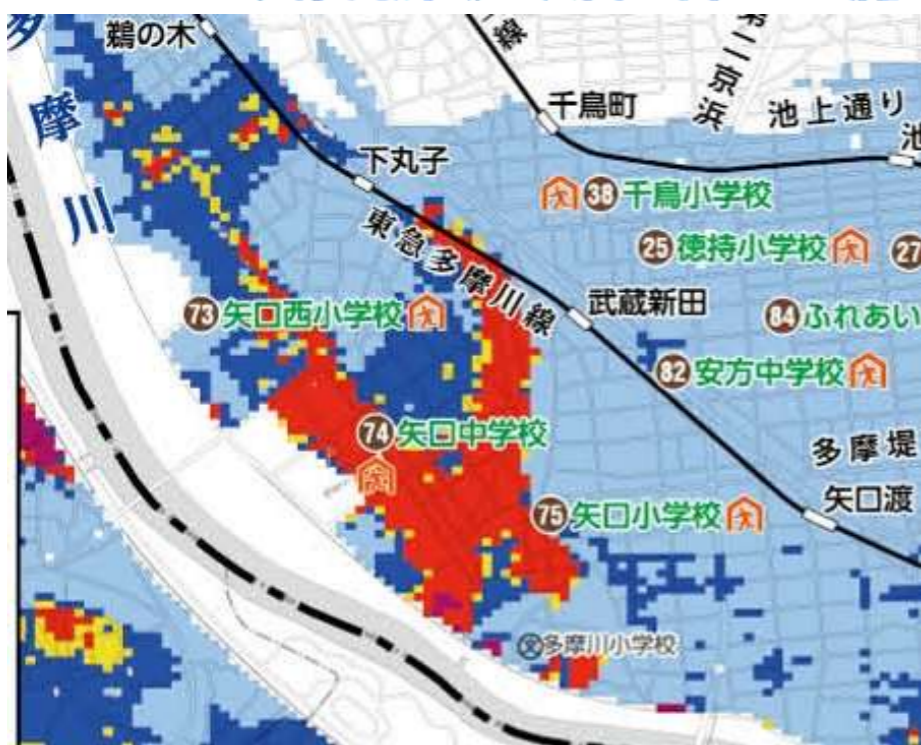


多摩川の全流域で48時間に588mmの降雨があった場合に想定される最大の浸水の深さを示しています。

◆多摩川氾濫  
多摩川の堤防が決壊すると、大量の水がまちなかに流れ込み、家屋損壊する恐れがあります。また、浸水被害は広範囲に及びます。



## ステップ2 多摩川流域に大雨が降った場合の浸水継続時間



多摩川の全流域で48時間に588mmの降雨があった場合に想定される浸水の継続時間を示しています。



YBTは、矢口地区の防災情報紙として年2回発行予定です。

## ステップ3 超大型の台風の接近で海面が上昇した場合



台風による高潮が発生した場合に想定される最大の浸水の深さを示しています。

※想定される高潮：上陸時中心気圧910hPa、最大旋衝風速半径75km、移動速度73km/hの台風による高潮

◆高潮 発生すると、大量の水が流れ込み、家屋損壊する恐れがあります。また、浸水被害が広範囲に及びます。



- ★今回は、多摩川が氾濫した場合のハザードマップを掲載しましたが、自宅の場所は確認できましたか？
- ★緊急時の避難先や備蓄品等についても、今のうちに確認し、実際に水災害が発生した際、慌てず行動できるように備えておきましょう。
- ★地震の際に避難所となる区立多摩川小学校は、水害時には避難所となりません。家屋倒壊等氾濫想定区域のため、近づかないようにしてください。

**もっとおしえてたまちゃん！たまちゃんの質問コーナー**  
みんなの疑問にたまちゃんが答えてくれます。

近年、「線状降水帯」という言葉をよく聞くけど、どういう現象なんだろう？

積乱雲が次々と発生して長さ50～300キロ程度の帯状に並ぶことで同じ場所で数時間にわたり、大雨を降らせる現象です。平成30年7月の西日本豪雨などで発生が確認され、気象庁は令和3年6月から線状降水帯の発生を発表するようになりました。

令和5年5月、気象庁は高性能化した気象レーダーの技術などを活用し、10～30分先に基準を満たすことが予測できたら、線状降水帯が「発生した」とみなして発表することにしました。

夏は、特に大雨が原因の災害に注意が必要です。予報をしっかり見て備えましょう！

YBTでは、防災に関する最新情報や地域情報を掲載しますので、災害に備えてご活用ください。